

2021年3月期

第3四半期決算説明会資料



2021年2月5日

ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

()数値は前年同期比

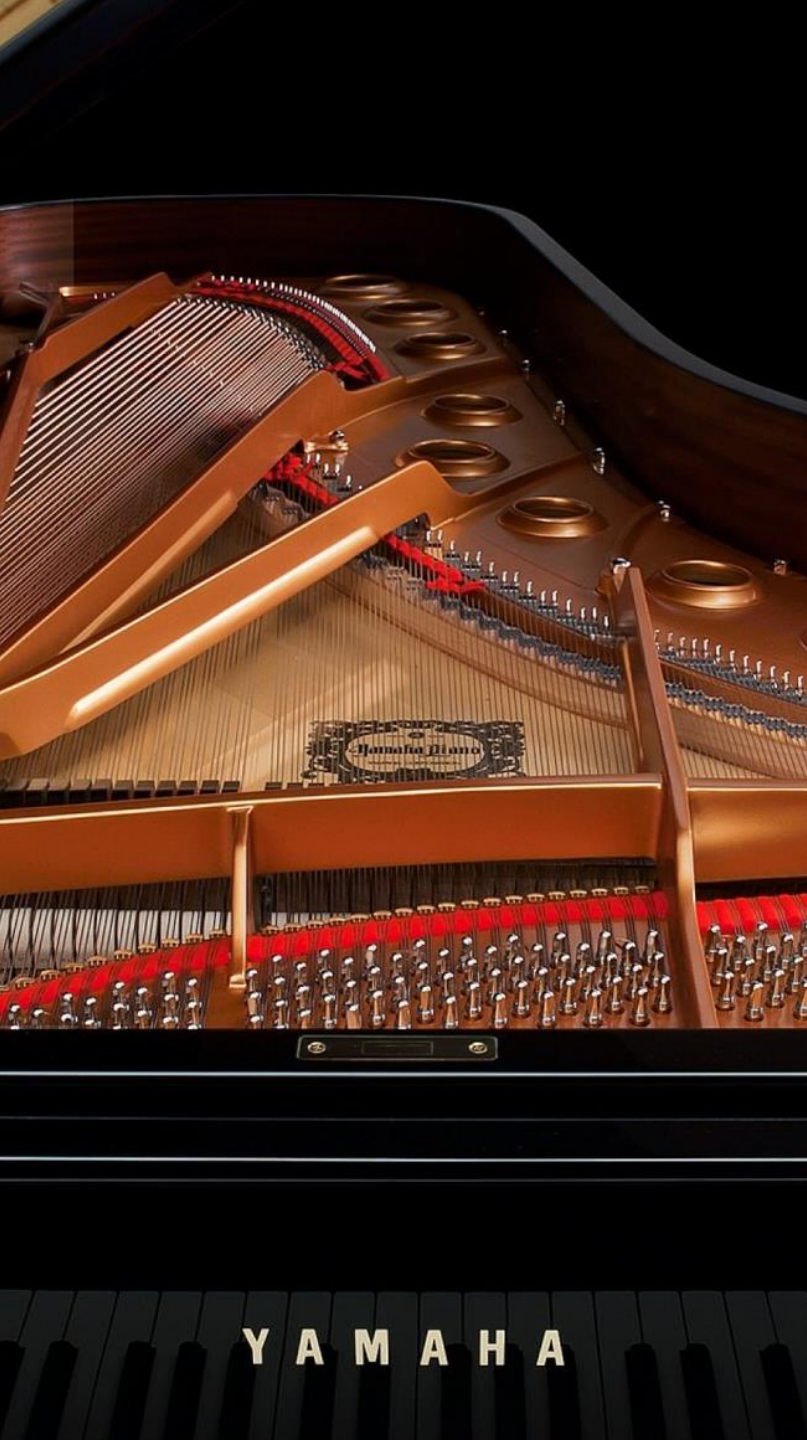
【21/3月期 3Q累計実績】

- ・ステイホーム需要により市況は回復基調も供給不足継続
- ・3Q(3カ月)は対前年では売上収益66億円減も事業利益は3億円減に留まり、事業利益率は14.9%(+0.7p)に改善

業績予想

【21/3月期 通期予想】

- ・市況回復、供給不足の解消進むも減収減益
- ・前回予想からは、すべてのセグメントが従来予想を上回り増収増益、売上収益150億円増、事業利益100億円増、当期利益80億円増を予想



1. 決算概要

業績概要

(億円)

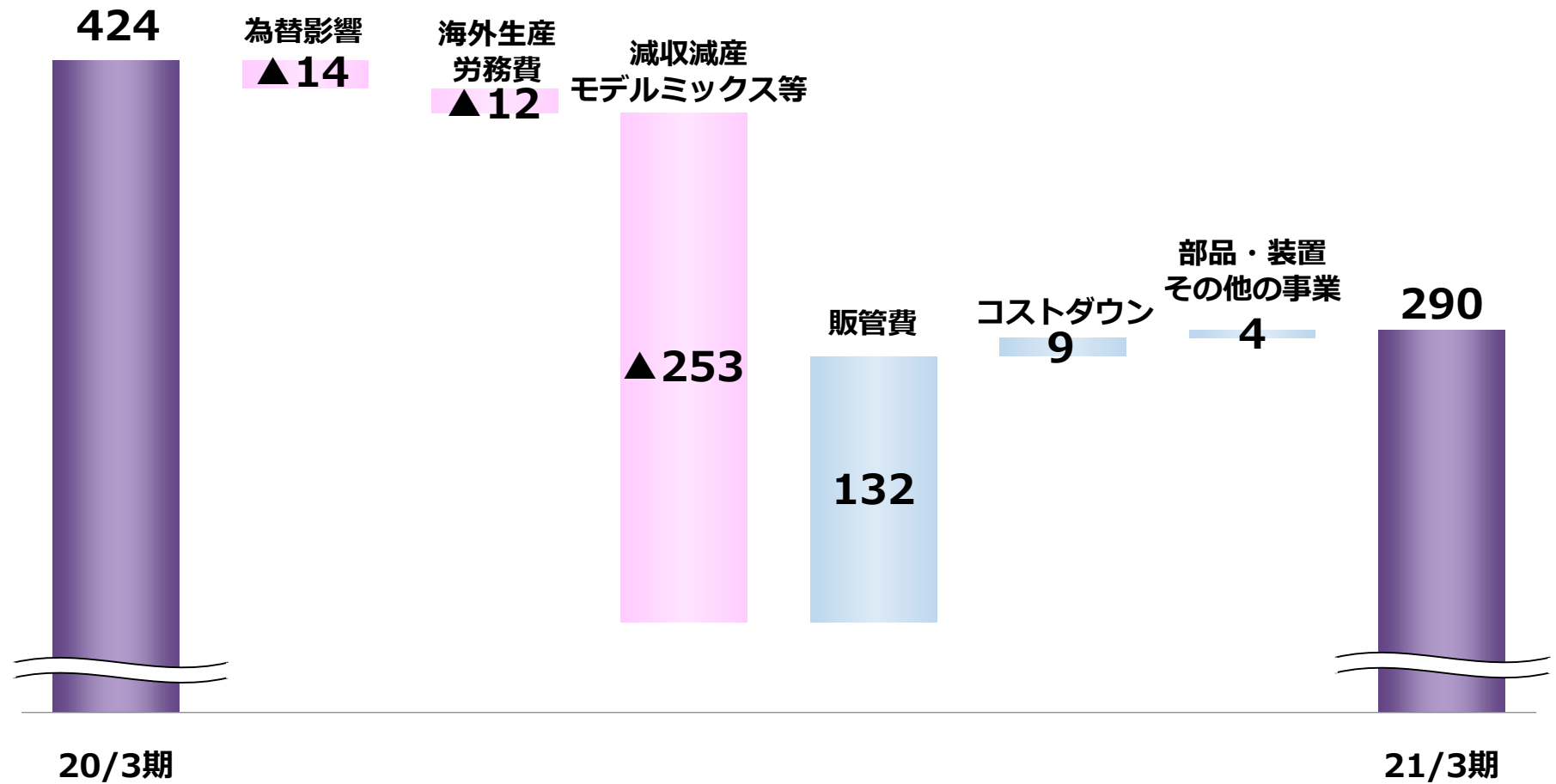
	20/3		21/3		前期比	
売上収益	3,226		2,723		▲503	▲15.6% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	424 (13.1%)		290 (10.7%)		▲134	▲31.5%
当期利益 ^{*1}	327		176		▲151	▲46.1%
						*2 ▲14.5% (為替影響除く)
為替レート (円)						
売上収益 (期中平均)	US\$	109	106			
	EUR	121	122			
利益 (決済レート)	US\$	109	106			
	EUR	122	120			

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		20/3	21/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,133	1,759	▲374	▲26
	事業利益	348	230	▲118	▲12
	事業利益率	16.3%	13.1%	▲3.2P	
音響機器事業	売上収益	862	748	▲114	▲8
	事業利益	71	51	▲21	▲2
	事業利益率	8.3%	6.8%	▲1.5P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	231	216	▲15	▲2
	事業利益	5	10	5	▲0
	事業利益率	2.0%	4.4%	+2.5P	

通期業績予想

(億円)

	20/3	21/3 (前回予想)	21/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	4,142	3,550	3,700	▲442	+150
事業利益 (事業利益率)	464 (11.2%)	250 (7.0%)	350 (9.5%)	▲114	+100
当期利益 [*]	346	160	240	▲106	+80

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	109	108	106
	EUR	121	120	123
利益 (決済レート)	US\$	109	108	106
	EUR	122	120	121

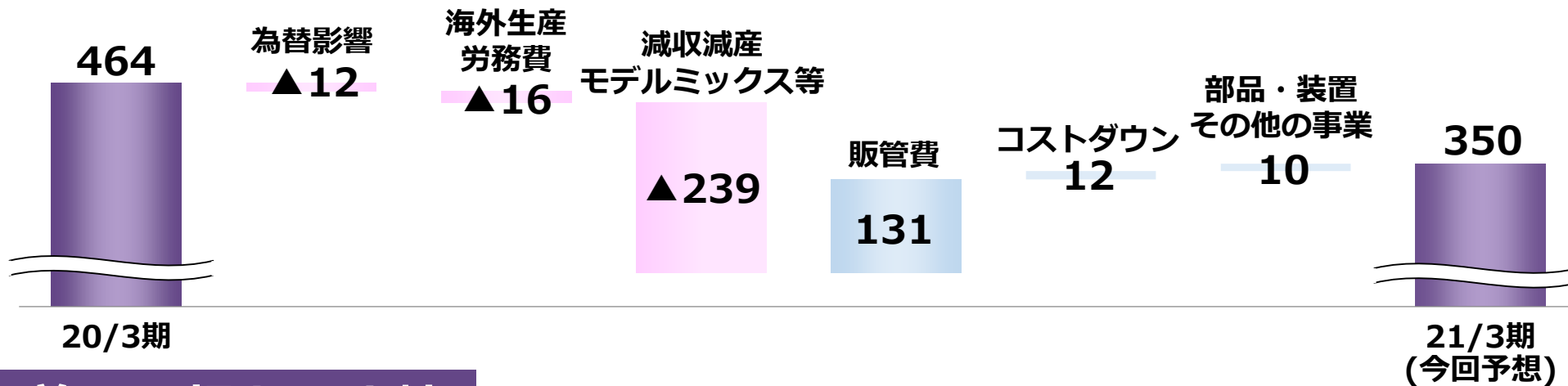
* 親会社の所有者に帰属する当期利益

※4Qの為替前提は、US\$105円、ユーロ123円

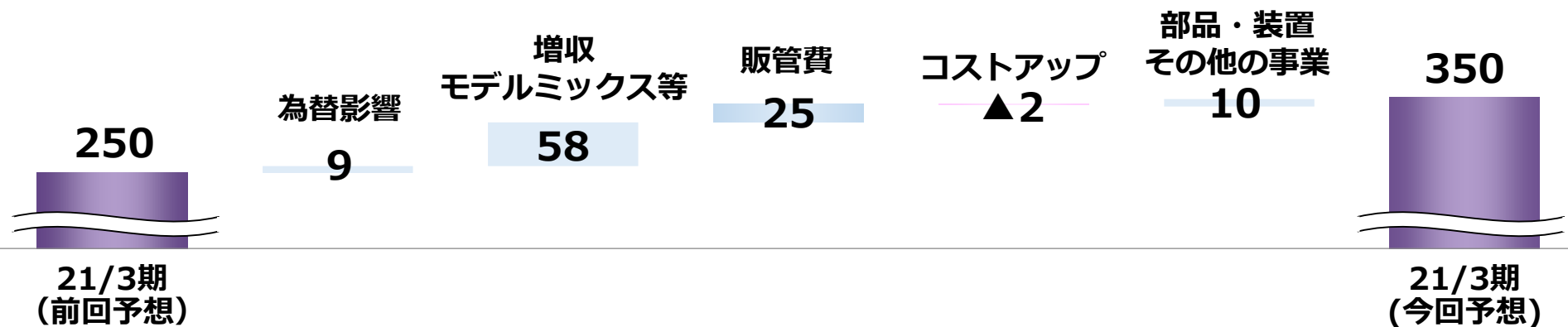
事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



前回予想との比較



事業別通期業績予想・前期比

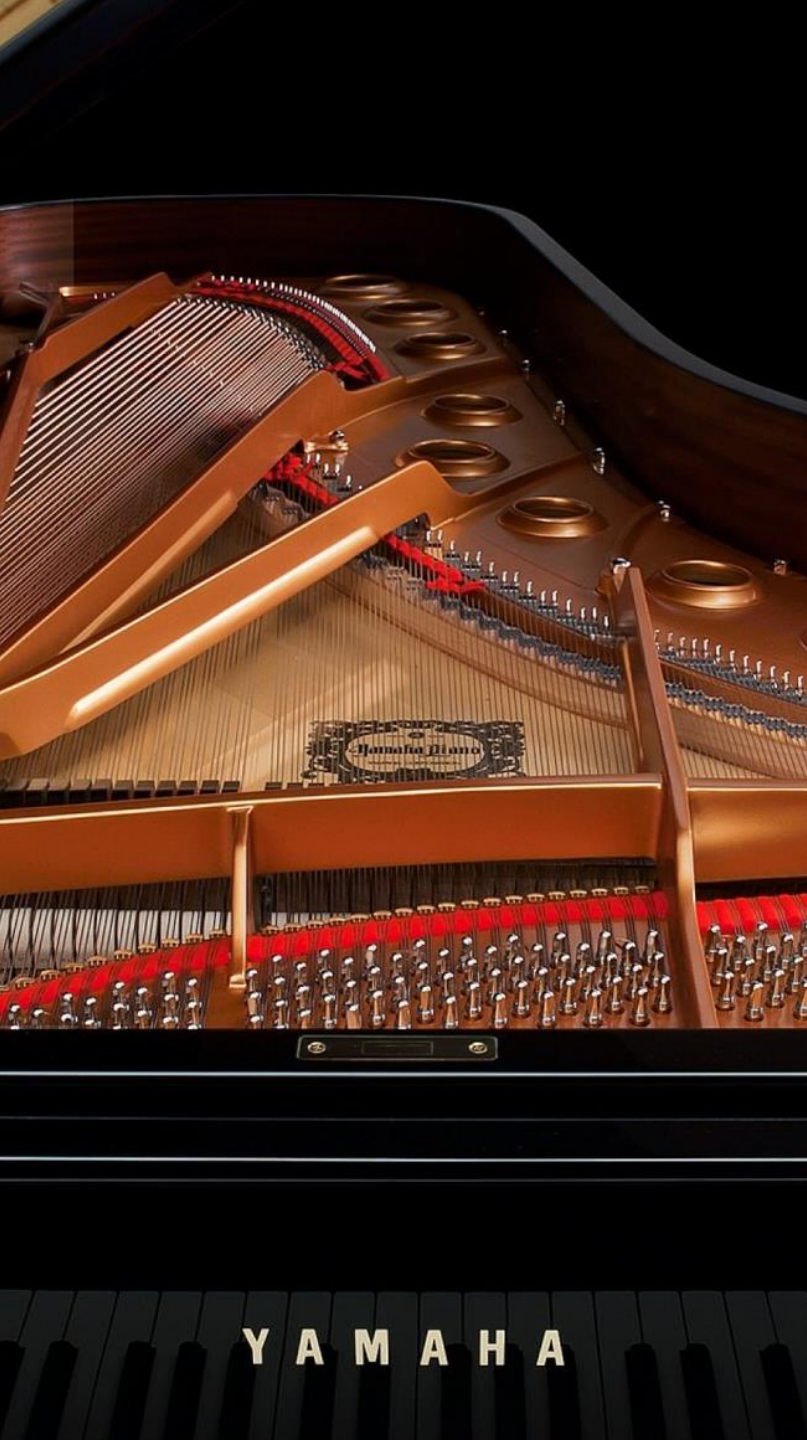
(億円)

		20/3	21/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,694	2,370	▲324	▲35
	事業利益	378	280	▲98	▲12
	事業利益率	14.0%	11.8%	▲2.2P	
音響機器事業	売上収益	1,144	1,030	▲114	▲10
	事業利益	86	60	▲26	0
	事業利益率	7.5%	5.8%	▲1.7P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	305	300	▲5	▲3
	事業利益	0	10	10	▲1
	事業利益率	0.1%	3.3%	+3.2P	

事業別通期業績予想・前回予想比

(億円)

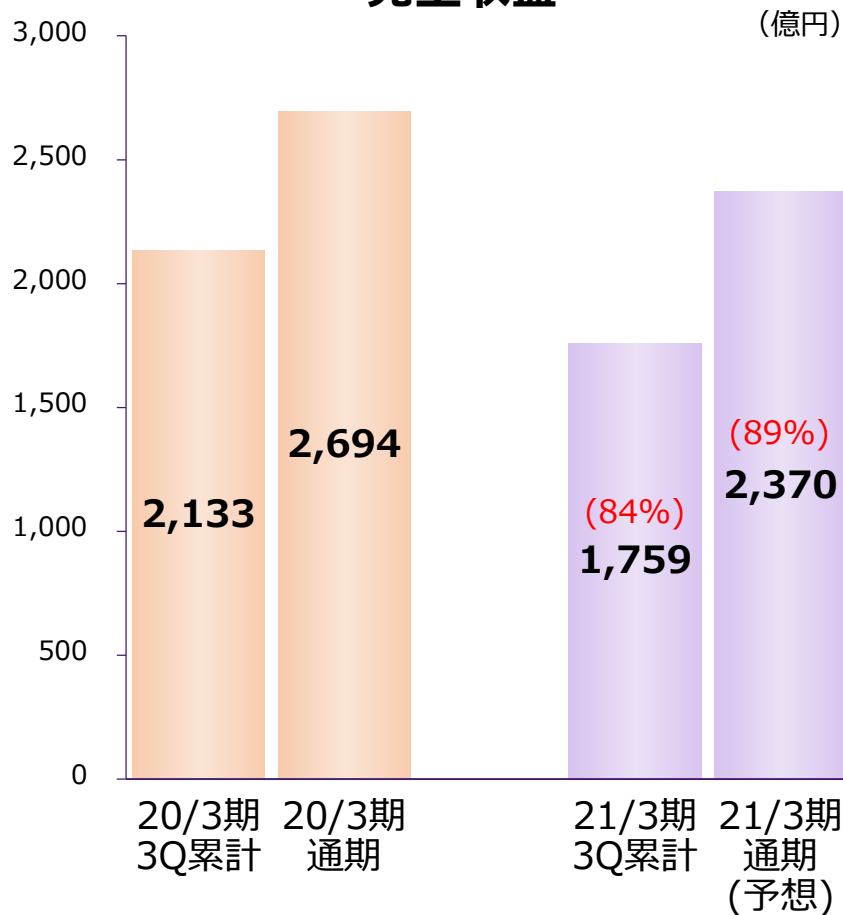
		21/3 (前回予想)	21/3 (今回予想)	前回予想比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,280	2,370	90	+7
	事業利益	200	280	80	+6
	事業利益率	8.8%	11.8%	+3.0P	
音響機器事業	売上収益	1,000	1,030	30	+2
	事業利益	50	60	10	+4
	事業利益率	5.0%	5.8%	+0.8P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	270	300	30	▲2
	事業利益	0	10	10	▲0
	事業利益率	0.0%	3.3%	+3.3P	



2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益



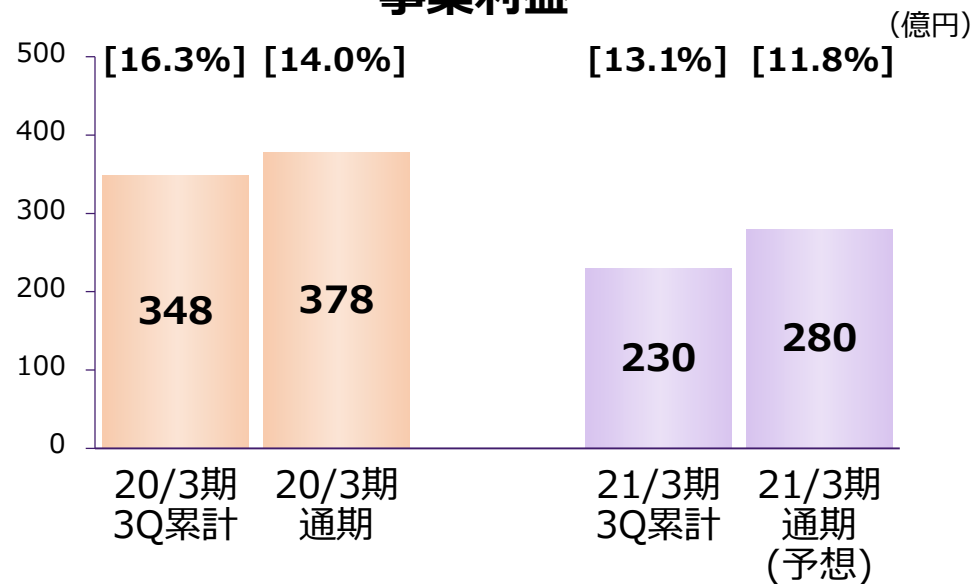
[3Q累計状況] ステイホーム需要継続、市況回復も供給難で減収

- ・ピアノは市況回復傾向、電子楽器は需要旺盛も供給伴わず減収、管弦打は吹奏楽活動停滞で市況低迷、ギターは需要旺盛とEC活況で堅調
- ・中国はピアノが牽引し復調、その他の地域は市況回復も供給不足解消されず減収

[通期見込] 4Qは供給不足改善も、上期の減少をカバーしきれず

- ・ピアノは市況回復し前年並みを維持、電子楽器は供給不足改善も減収、管弦打は学校需要の回復遅れ減収、ギターは需要堅調で増収を予想
- ・中国は増収、その他の地域は減収を予想

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

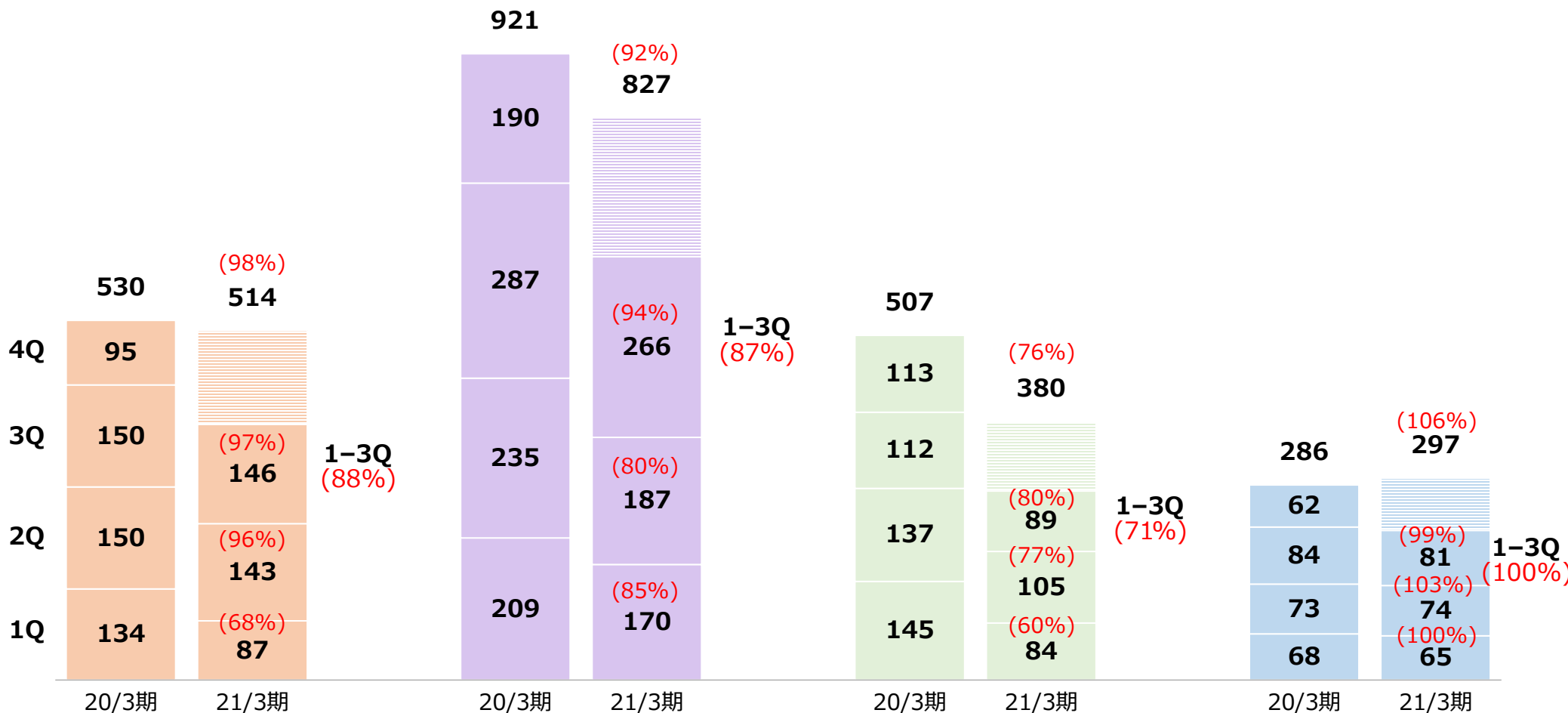
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

ギター

(億円)

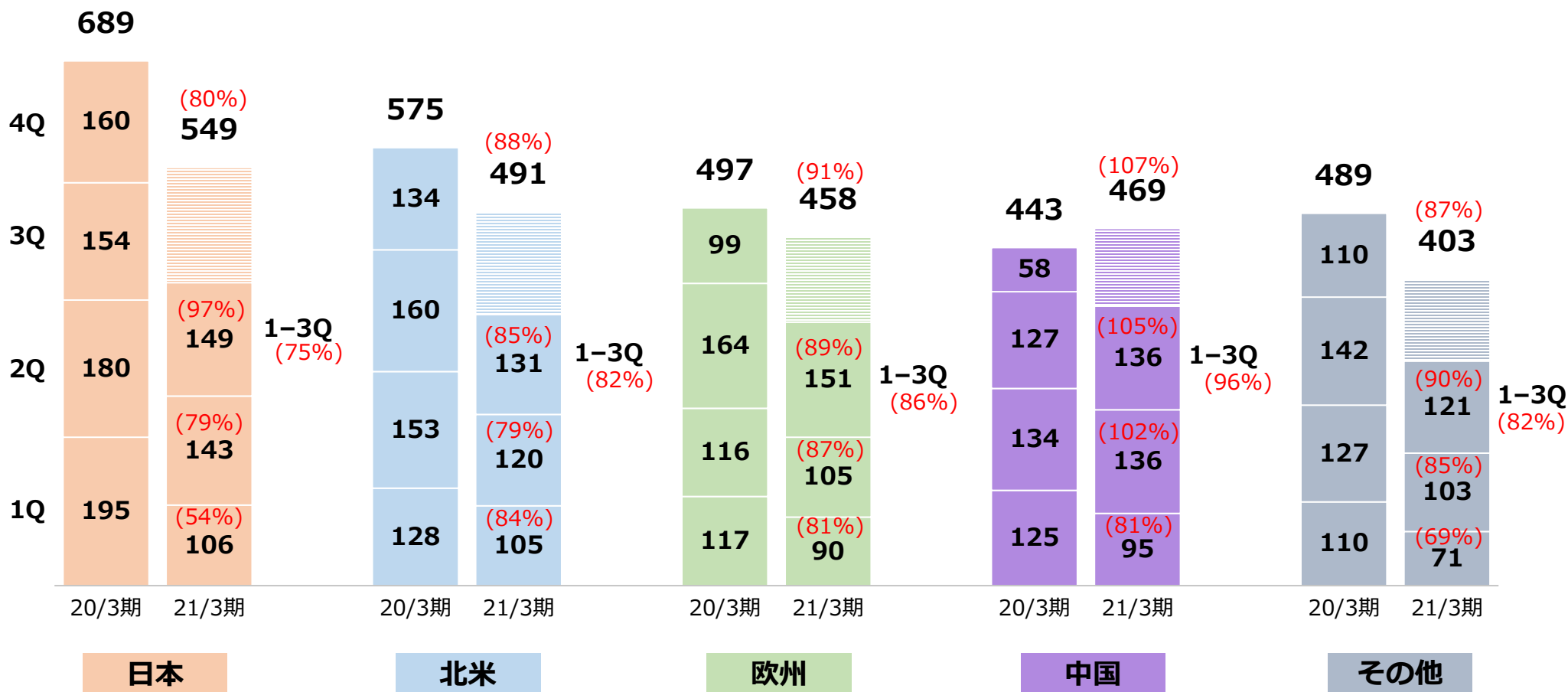


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

*ギターは、Line6・Ampegブランド売上を含む

地域別販売状況

(億円)



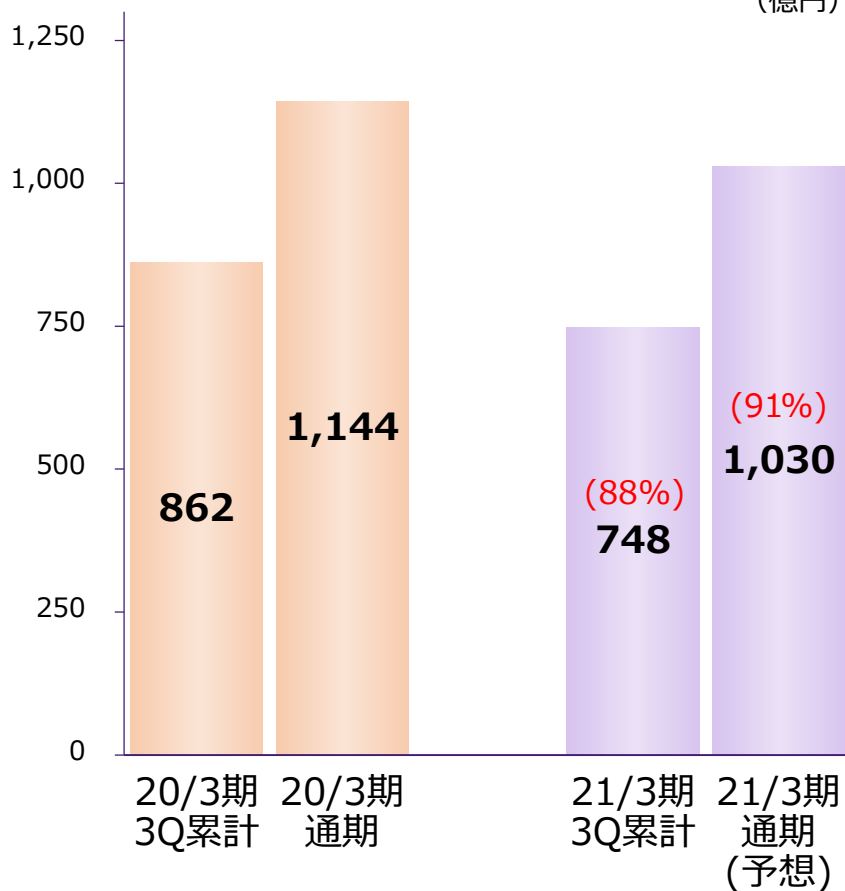
※ソフト、音楽教室等を含む

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



[3Q累計状況] AVはステイホーム需要増も供給不足、PAは苦戦継続

- ・AVはサウンドバー・HiFi堅調もレシーバー供給不足で減収
- ・PAは制作・配信用商材好調も、設備・ライブ市場は回復遅れ
- ・ICTはリモート需要の拡大でUCの好調が続く

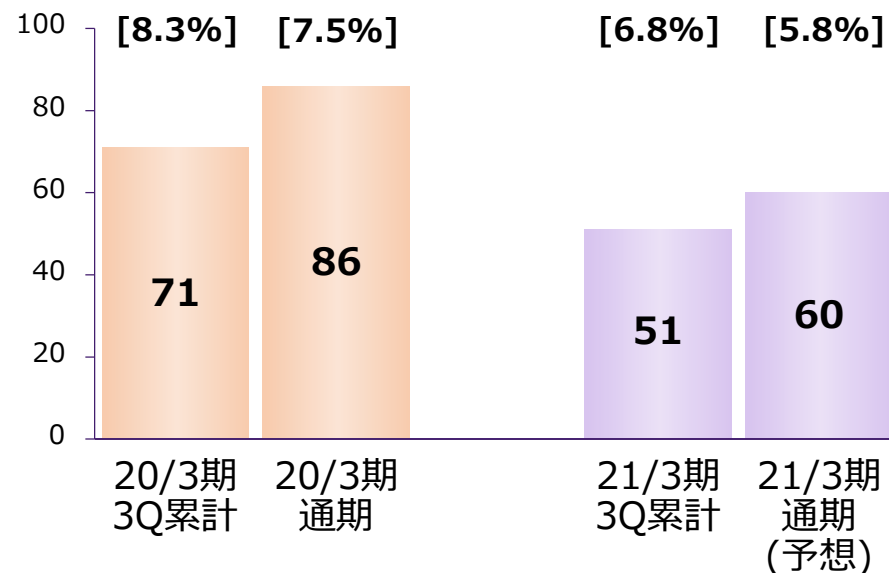
[通期見込] ステイホーム需要堅調もPA苦戦で減収

- ・AVはサウンドバー伸長も、レシーバー供給不足から減収を予想
- ・PAは設備・ライブ市場の低迷続き減収を予想
- ・ICTはUC需要拡大継続で2桁成長を予想

*UC:会議システム

事業利益

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[]内は事業利益率

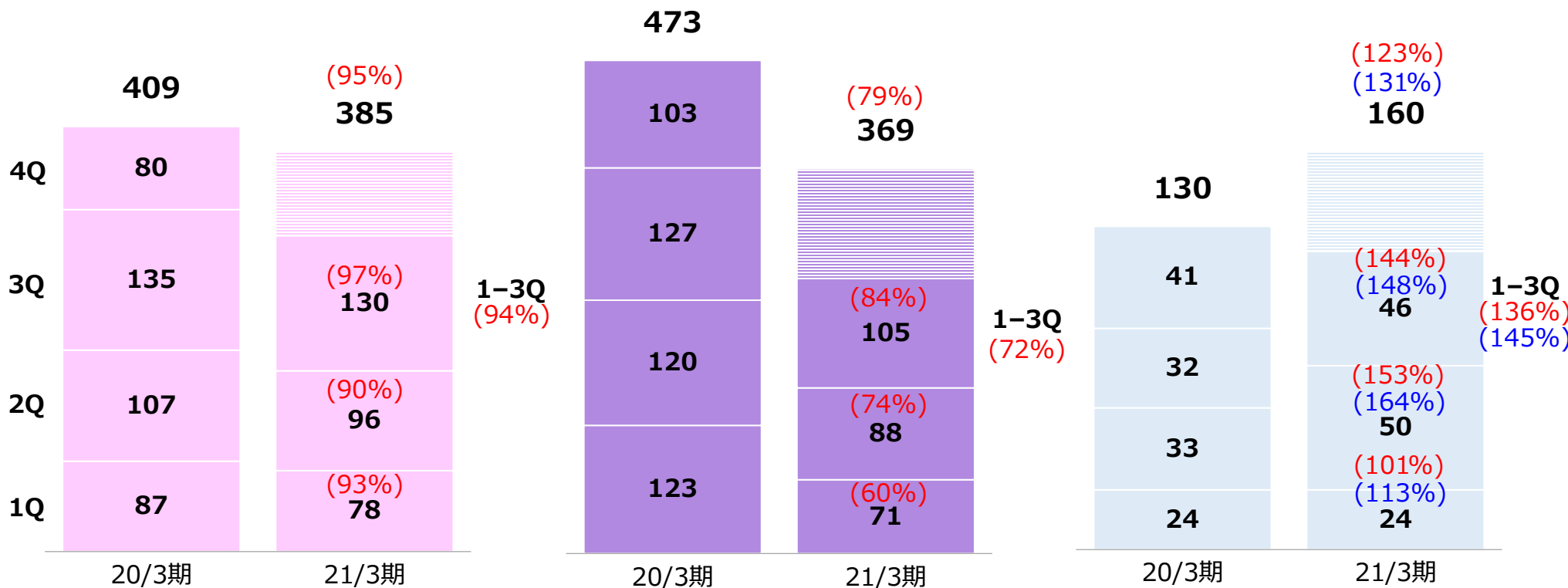
主要商品 販売状況

AV機器

PA機器

ICT機器

(億円)



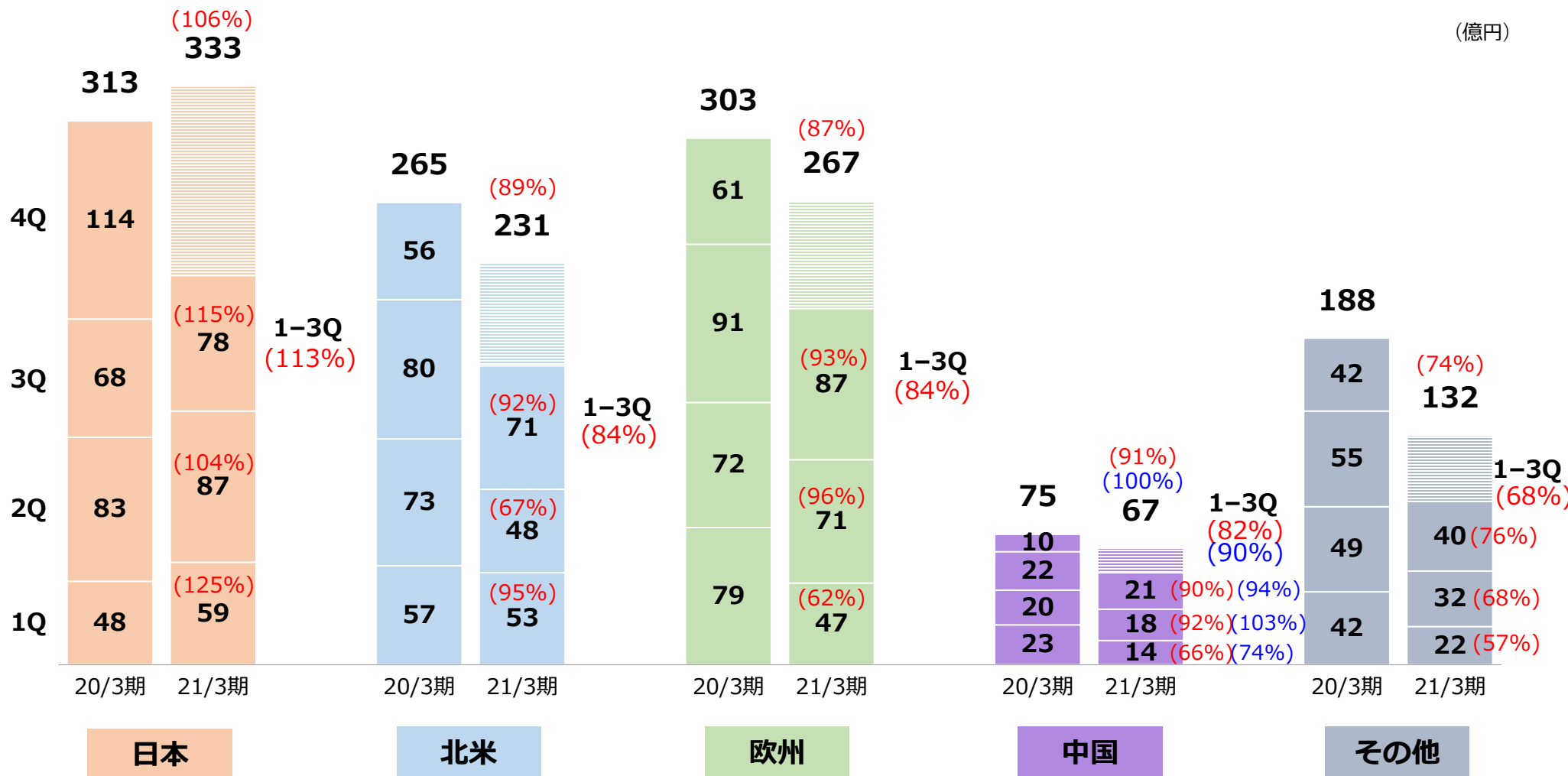
※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

()内はOEM向けを除いた前期比増減

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別販売状況

(億円)



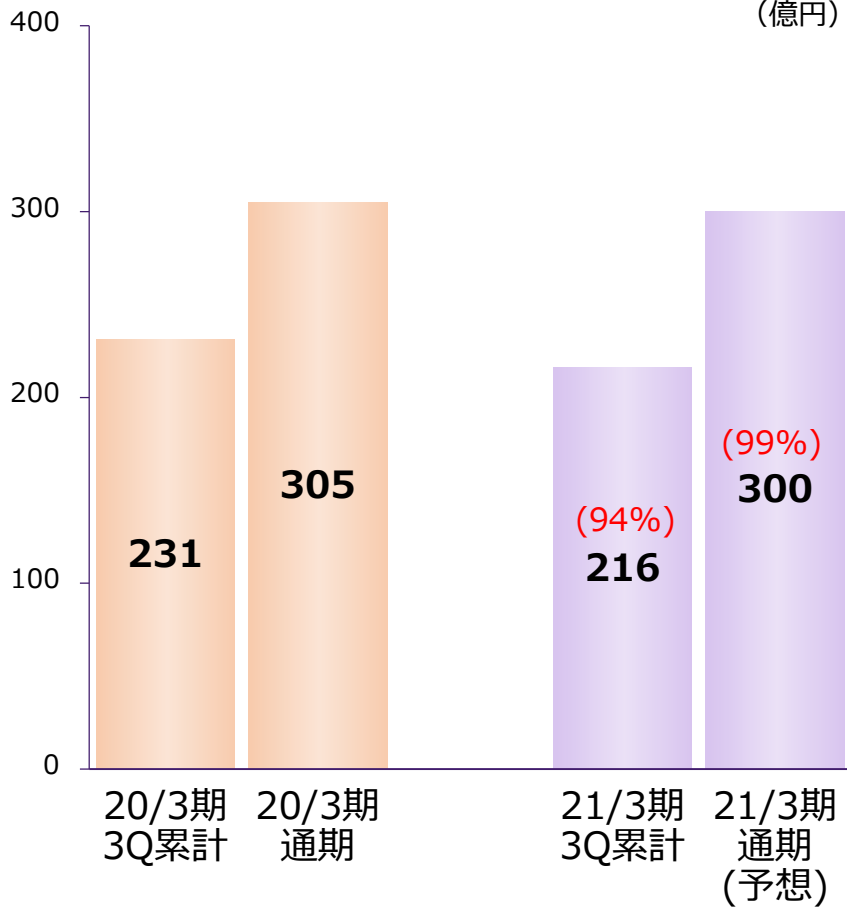
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

()内はOEM向けを除いた前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前同期比増減

[3Q累計状況]

・電子デバイスは減収、自動車用内装部品、FA機器は需要回復で増収

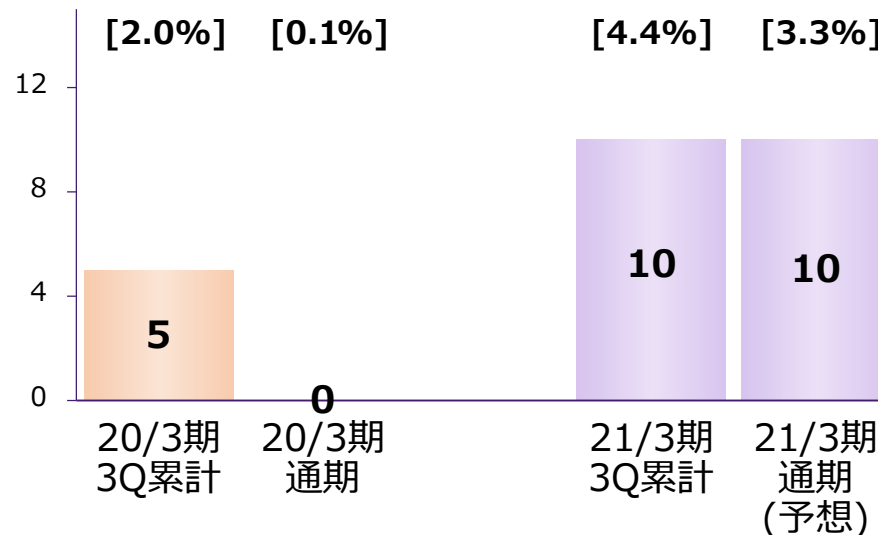
[通期見込]

・電子デバイスはアミューズメントの減速で減収を予想

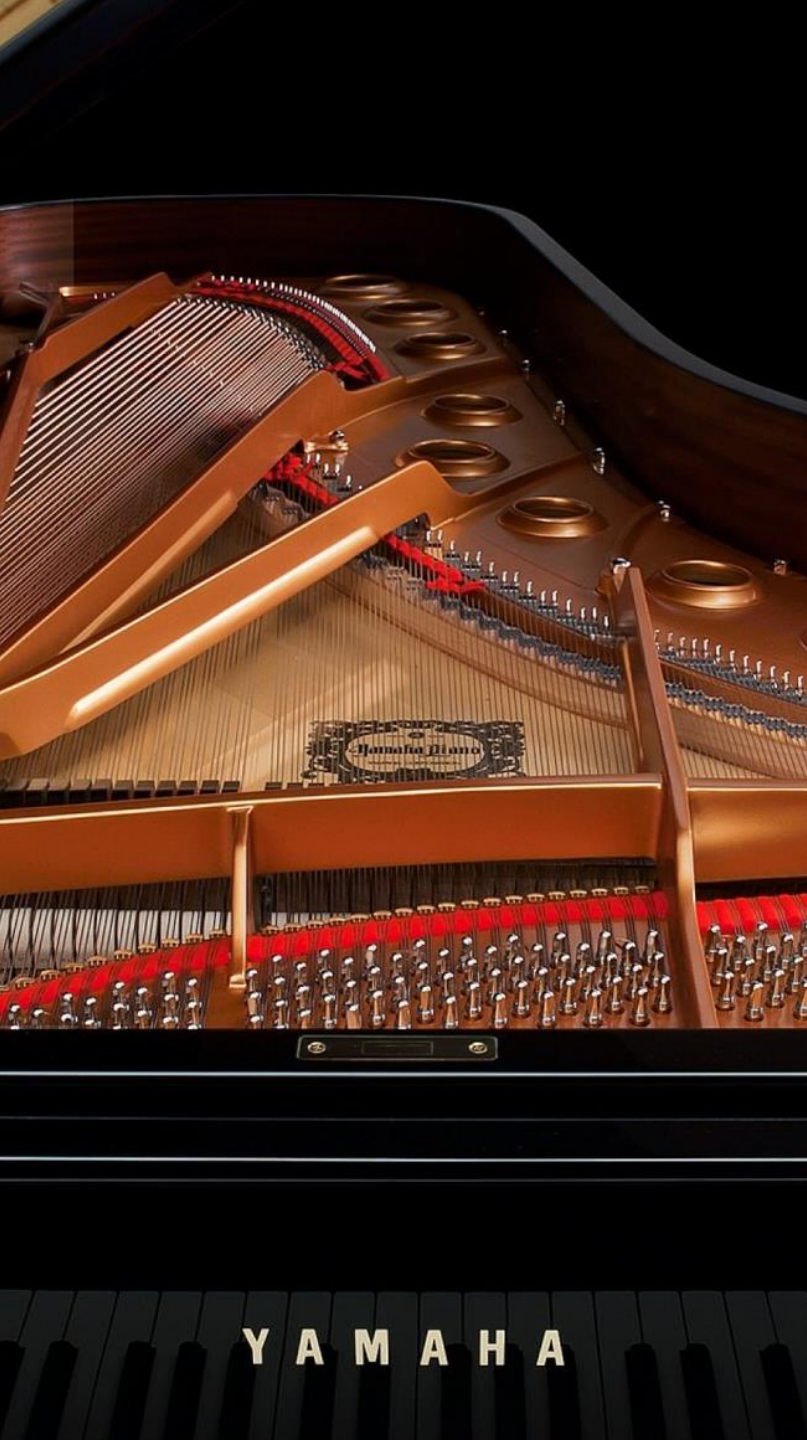
・自動車用内装部品、FA機器は需要持ち直し増収を見込む

事業利益

(億円)



[]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

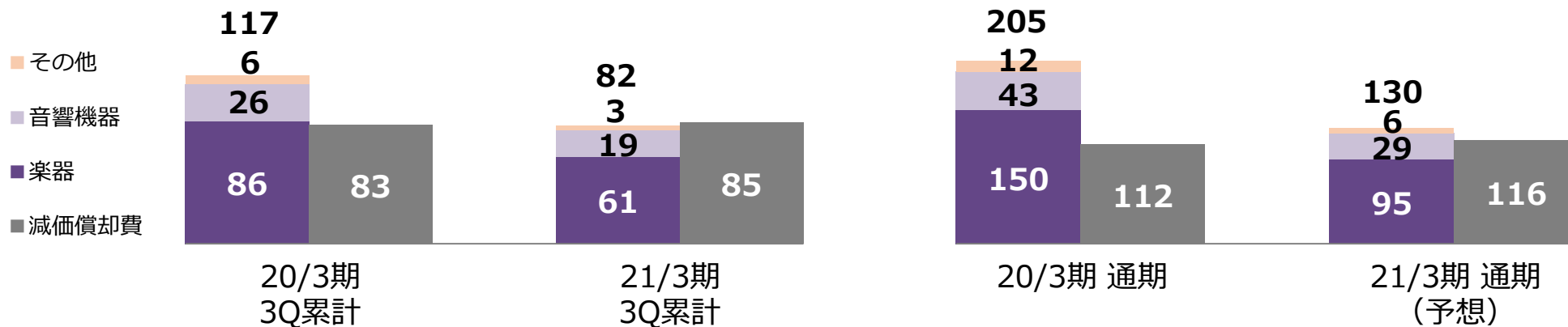
(億円)

	20/3末	21/3 3Q末	増減	21/3末 (予想)
現金及び現金同等物	927	1,068	142	1,027
営業債権他	581	580	▲0	667
その他金融資産	129	88	▲41	88
棚卸資産	1,001	969	▲32	940
他流動資産	65	91	26	91
非流動資産	2,038	2,349	311	2,357
資産計	4,740	5,145	405	5,169
流動負債	991	982	▲9	947
非流動負債	484	543	59	535
資本計	3,265	3,620	356	3,685
負債及び資本計	4,740	5,145	405	5,169

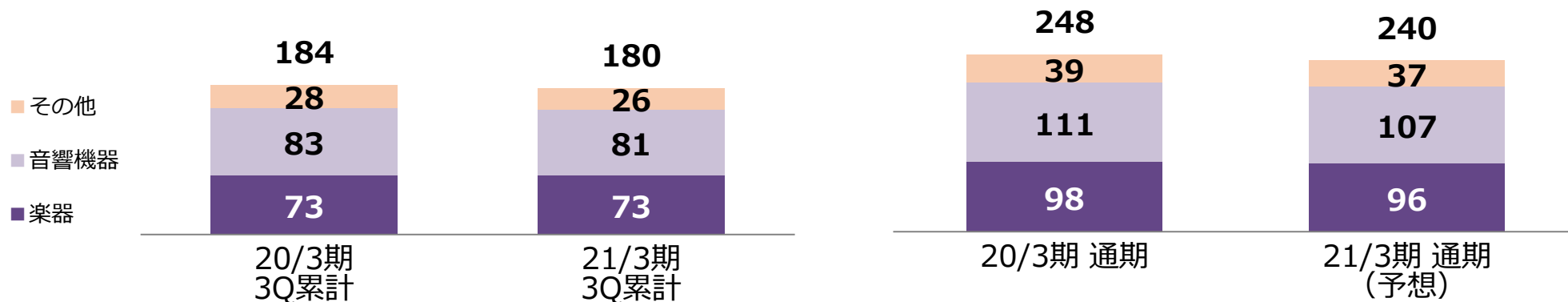
設備投資額・減価償却費/研究開発費

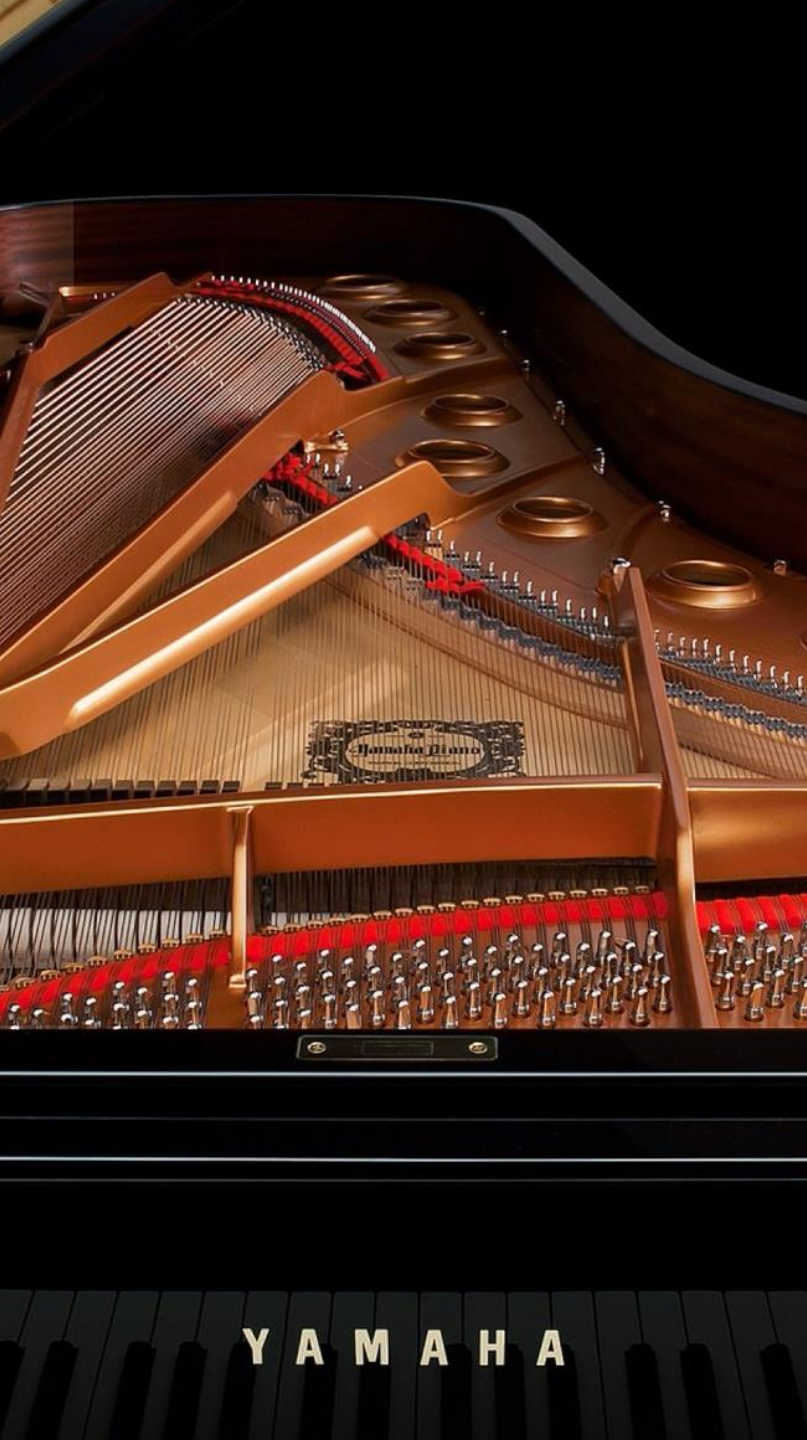
設備投資額/減価償却費

(億円)



研究開発費





4. ESGの取り組み

ESG関連トピック

外部評価・受賞

「ヤマハグループ統合報告書2020」が「第23回日経
アニュアルレポートアワード」で「優秀賞」を受賞



「ヤマハグループ統合報告書2020」は、
下記からご覧いただけます

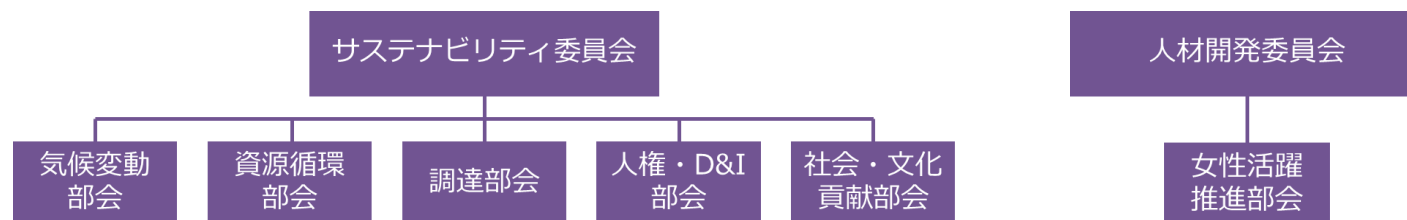
<https://www.yamaha.com/ja/ir/publications/>

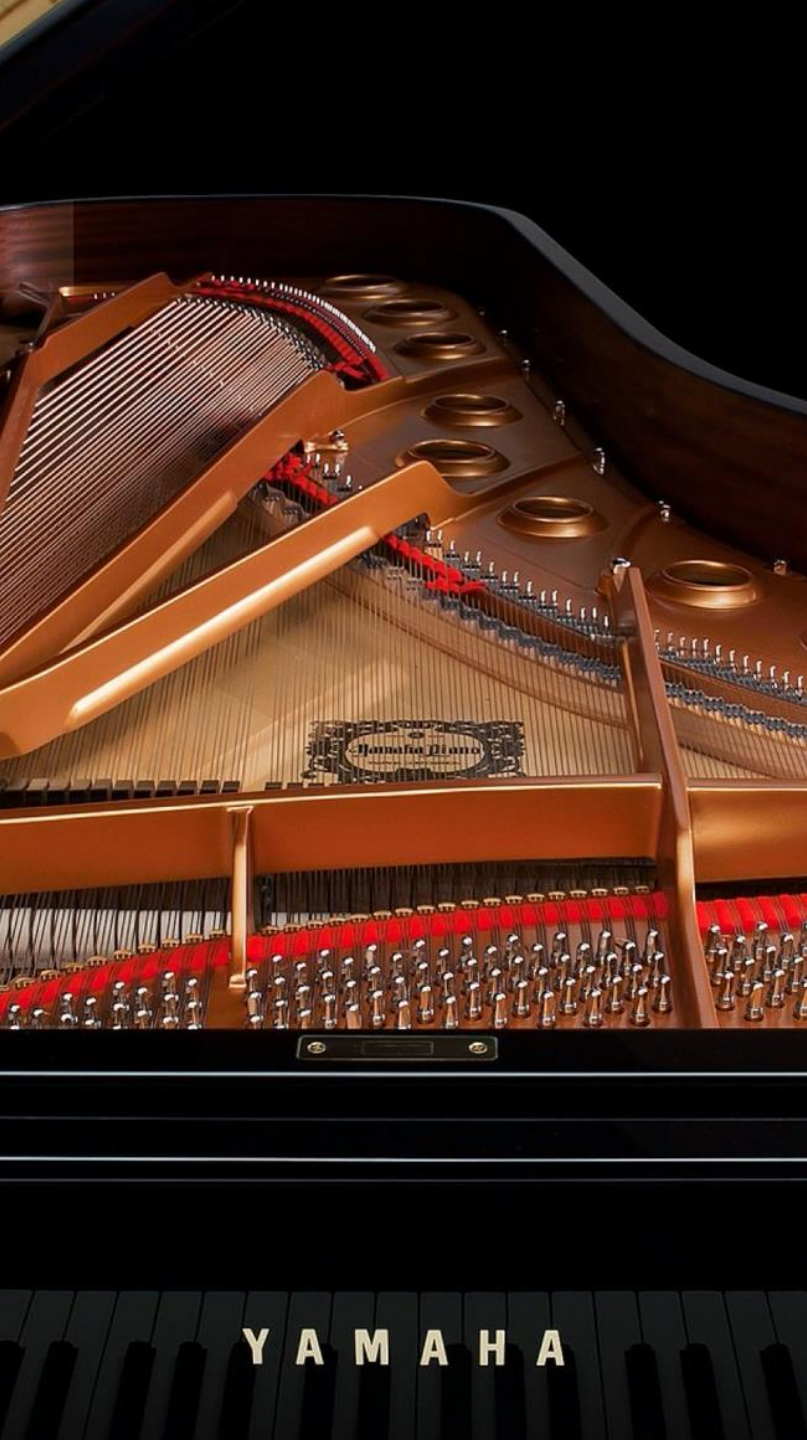
CDP「気候変動レポート」
で「A-」の評価を獲得



ESGへの取り組みを加速（2021年1月付 組織変更）

サステナビリティ委員会と5つの部会を新設。人材開発委員会に女性活躍推進部会を新設





付属資料

2021年3月期 3Q 業績概要

(億円)

		20/3	21/3	前期比	
売上収益		1,141	1,075	▲66	▲5.8% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)		163 (14.2%)	160 (14.9%)	▲3	▲1.6%
当期利益 ^{*1}		116	105	▲11	▲9.2%
為替レート (円)					^{*2} ▲5.1% (為替影響除く)
売上収益 (期中平均)	US\$	109	105		
	EUR	120	125		
利益 (決済レート)	US\$	109	105		
	EUR	119	121		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

2021年3月期 3Q 事業別実績

(億円)

		20/3	21/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	747	687	▲60	▲5
	事業利益	125	113	▲13	▲0
	事業利益率	16.8%	16.4%	▲0.4P	
音響機器事業	売上収益	317	296	▲20	▲2
	事業利益	35	35	0	1
	事業利益率	11.0%	11.8%	+0.8P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	77	92	14	▲1
	事業利益	3	12	10	▲0
	事業利益率	3.5%	13.5%	+10.0P	

2021年3月期 3Q累計 その他収支等

		20/3	21/3
事業利益		424	290
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	3	▲1
	その他	14	▲23
	計	16	▲23
営業利益		440	267
金融収支計	受取配当金	22	6
	その他	▲8	▲15
	計	14	▲9
税前利益		455	258
法人所得税費用		126	81
非支配株主利益		1	1
当期利益*		327	176

(億円)

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2021年3月期 通期 その他収支等

		20/3	21/3 (予想)
事業利益		464	350
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	3	0
	その他	▲33	▲20
	計	▲30	▲20
営業利益		433	330
金融収支計	受取配当金	37	22
	その他	2	▲17
	計	39	5
税前利益		472	335
法人所得税費用		125	94
非支配株主利益		1	1
当期利益*		346	240

(億円)

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。